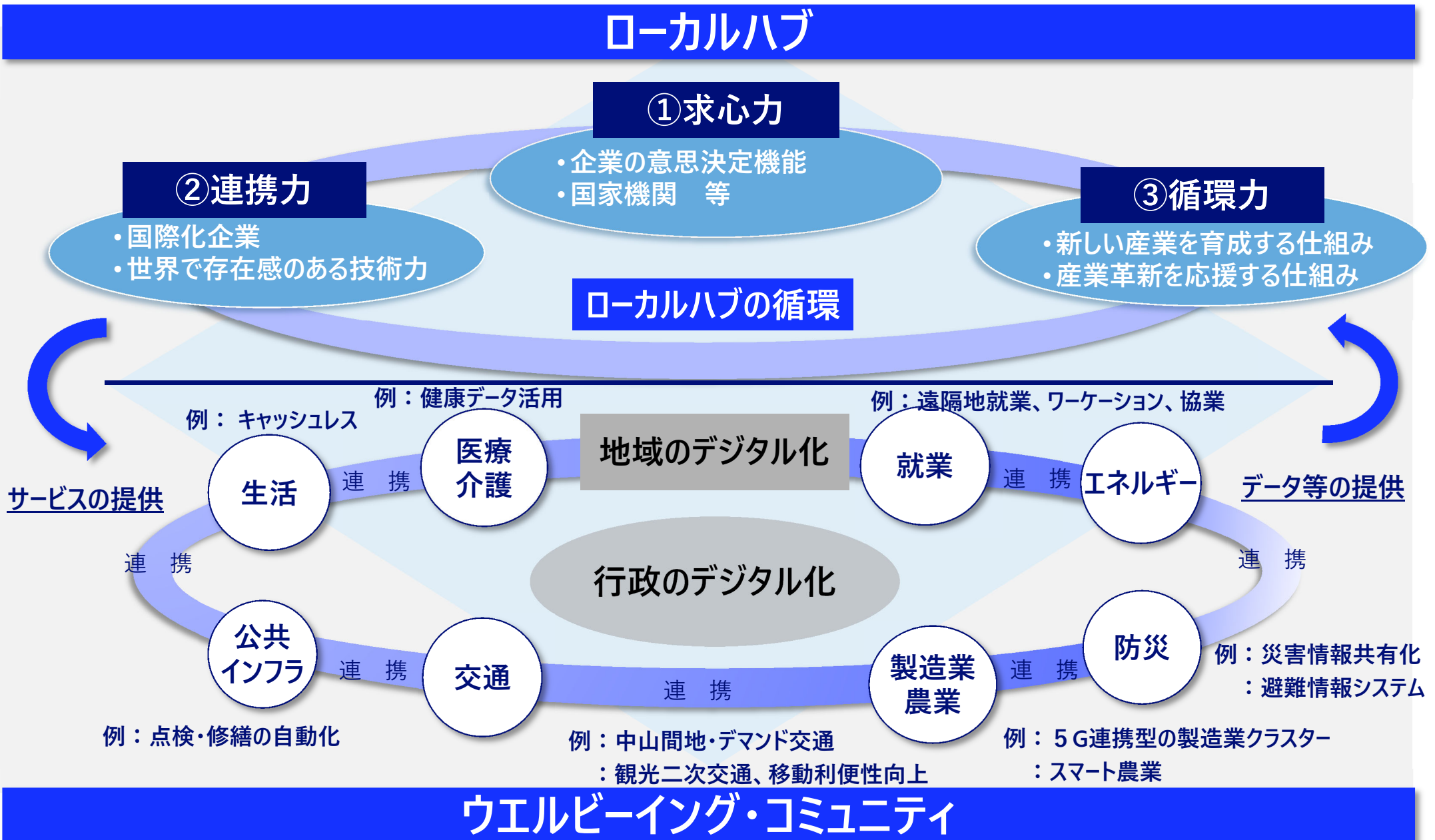


# SDGs未来都市鶴岡 デジタル化戦略の推進

SDGs未来都市鶴岡 デジタル化推進有識者会議

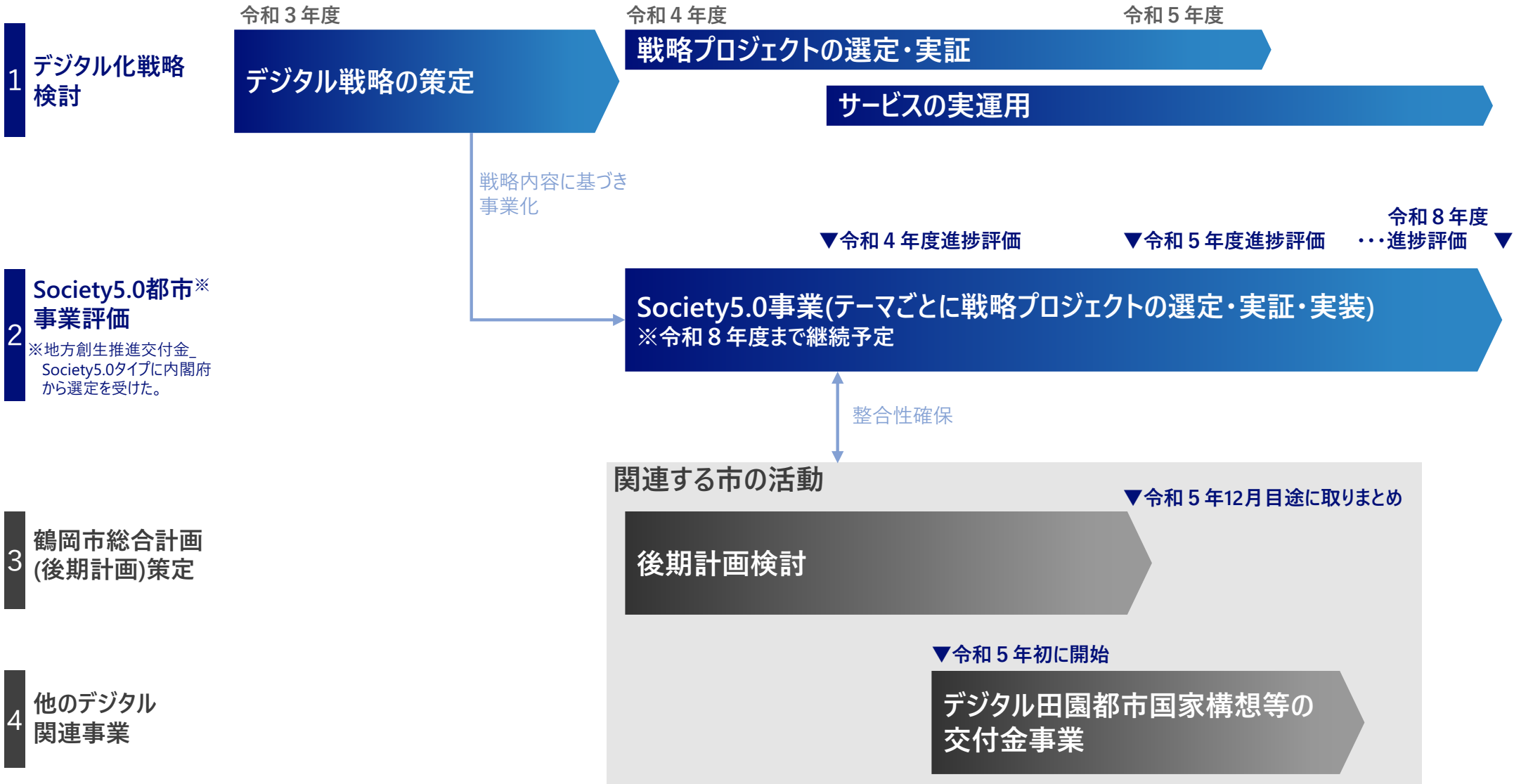
1. これまでの経過と今後の有識者の役割について
2. 討議 1 : 地方創生推進交付金(Society5.0)の取組について
3. 討議 2 : 今後取組むべき活動テーマ

# デジタル化で、「ローカルハブ」と「ウェルビーイング・コミュニティ」が相互連動するしかけづくり推進



# 令和4年度以降のデジタル化戦略推進

「地方創生推進交付金 Society5.0」事業の推進にあたっては、市総合計画検討や他の国事業との整合性を保ち、**実証等を通じた検討の具体化を進める。**

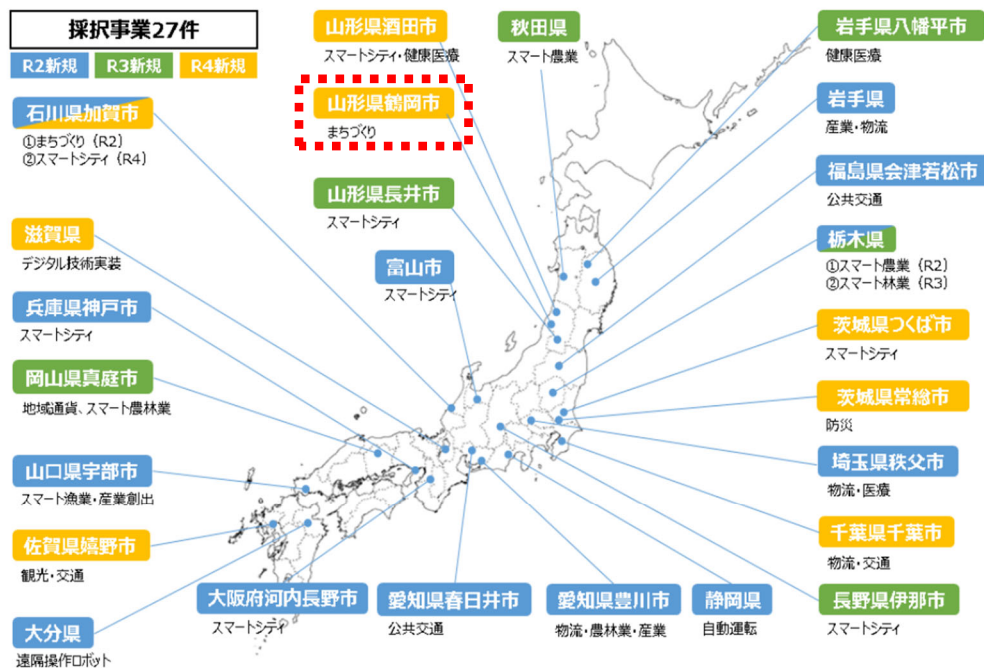


## 【参考】Society5.0事業への採択

鶴岡市は「**未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国モデル**」を目指す国事業に採択された。取組内容のP D C Aサイクルはデジタル化戦略有識者会議を中核として持続する。

令和4年度鶴岡市はデジタル化戦略に基づき、国事業「**地方創生推進交付金 Society5.0タイプ**」に応募・採択された。

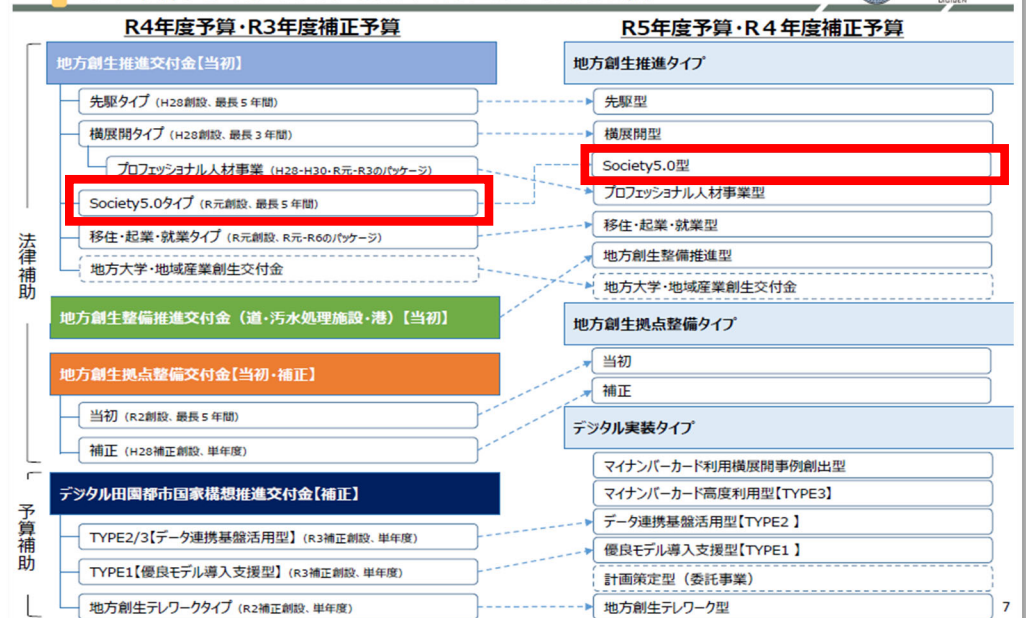
### 地方創生推進交付金Society5.0タイプ採択事業一覧



内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進事務局  
地方創生 > 施策等 > 地方創生未来技術支援窓口 > 地方創生推進交付金 (Society5.0タイプ)  
<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/policy2.html>

令和5年度以降、地方創生推進交付金は、「**デジタル田園都市国家構想推進交付金**」の一部に位置付けられる

### 「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の新旧比較



内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進事務局  
令和4年11月10日「デジタル田園都市国家構想交付金について」

### Society5.0タイプについて

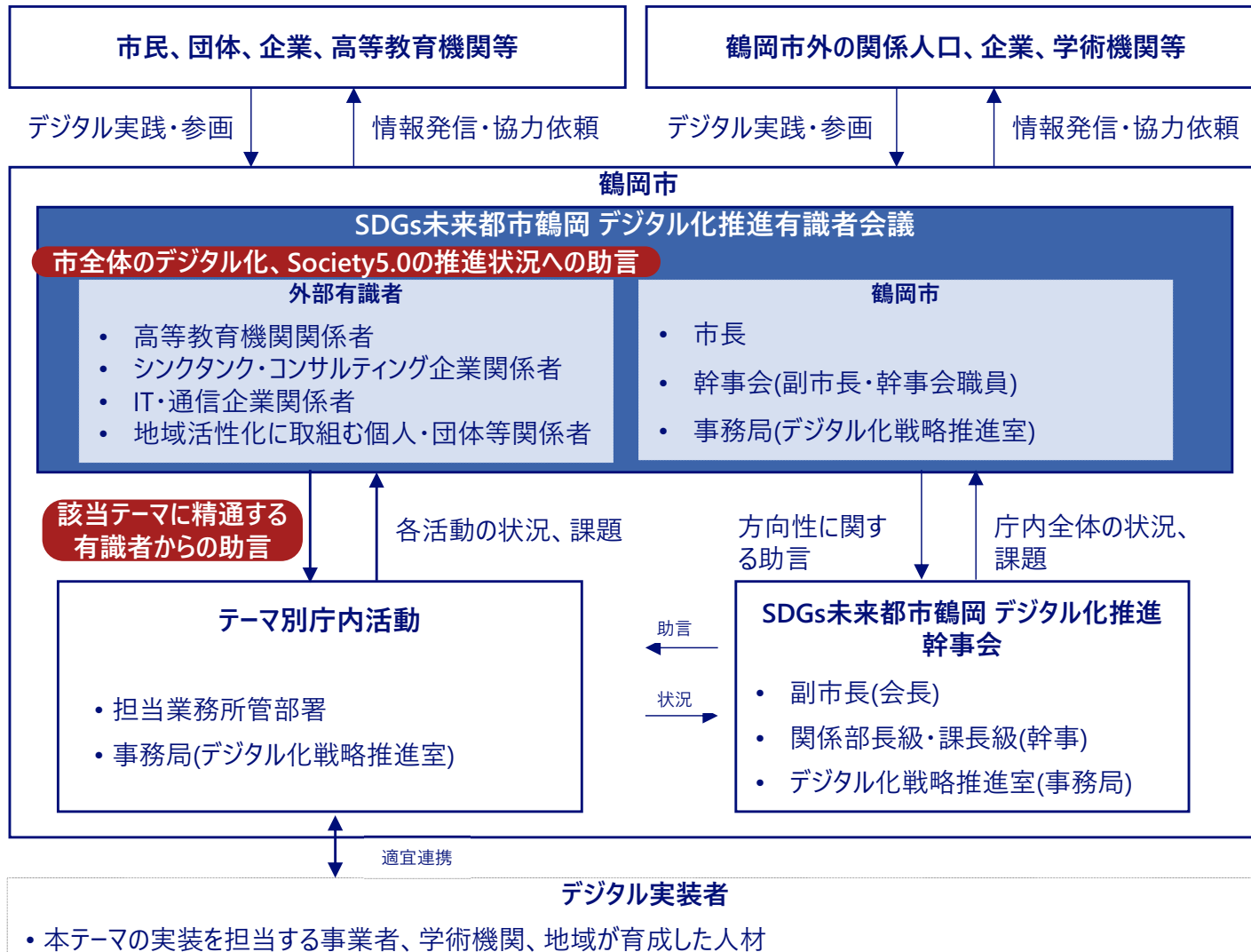
- 地方創生推進交付金「Society5.0タイプ」は、**未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国モデル**となりうる事業の普及・実用化を目指し、数カ年度にわたり継続的に国が財政支援を行うもの。
- 地方創生への寄与を前提に、「**国・専門家等による協働P D C Aサイクルが整備済**」等を事業の要件とする。

## 社会実装局面における外部有識者の参画

有識者会議委員の皆様には、市全体のデジタル化の推進状況への助言と、各テーマへの具体的な助言とをお願いしたいと考えています。

- 以下に令和3年度策定「鶴岡市デジタル化戦略」に示したデジタル化戦略推進体制を記載します。

### デジタル化戦略推進体制



# SDGs未来都市鶴岡 デジタル化戦略の推進

SDGs未来都市鶴岡 デジタル化推進有識者会議【事務局資料】

1. これまでの経過と今後の有識者の役割について
2. 討議1：地方創生推進交付金(Society5.0)の取組について
3. 討議2：今後取組むべき活動テーマ

討議1 活動成果に関するご意見伺い

デジタル化戦略に沿い、鶴岡市役所全庁、地場で活動する企業・学術機関が一丸となり、多数の活動が具体化し始めている。【※各テーマの活動については別紙参照】

鶴岡市デジタル化推進活動の大分類

行政内部の課題

地域課題

サービス

①

庁内業務効率化

②

行政サービス  
デジタル化

③

地域課題解決  
サービス構築

Society5.0事業の範囲

人材

④

デジタル化推進のための  
庁内体制整備

⑤

デジタル化社会の  
地域の担い手づくり

## 討議 1 活動成果に関するご意見伺い

# 【参考】Society5.0事業範囲のデジタル化

- 令和3年度の有識者会議の議論のとおり、**市民に身近なサービスのデジタル化から着手。**
- 早期に着手した一部の実証テーマについては、国の事例集に掲載された。

地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）採択事例集（鶴岡市ページ抜粋）

市民とともに、産官学が協働して地域課題解決するデジタル田園都市基盤の整備

山形県鶴岡市（令和4年度新規採択）

まちづくり



K  
P  
I

- ①デジタル田園都市基盤上のサービス利用者数（単位：人/年）
- ②中山間地域にて実証したサービスの社会実装数（単位：個/年）
- ③デジタルを活用した新規事業数（単位：事業/年）
- ④データに基づく地域サービスの改善数（単位：個/年）

取  
組  
内  
容

### ・いつでもどこでも市民向けサービスを提供するためのデジタル構築

地域にある官民のサービスを一元的に市民に提供する市民向けプラットフォームと、市が合意に基づき個人のデータを蓄積・管理し、妥当性を判断の上、事業者にデータを提供する企業向けプラットフォームを構築する。

### ・防災情報を一元化するプラットフォーム拡大運用

官民が提供する様々な情報を収集・共有化する災害情報共有システムを構築し、必要となる情報を必要とする人に適時・的確に伝達する多様な情報伝達手段を整備する。また、避難生活時や復旧・復興期における被災者への支援情報やサービスを提供するワンストップ情報窓口を整備する。

### ・健康状態の無意識遠隔管理

非接触型デバイスを活用し独居老人等の日々の健康状態を精緻に取得することで、状態悪化予防や地域の見守り負荷軽減を実現する。

### ・中山間地域拠点での遠隔行政手続き

地域の各拠点をWeb会議システム等で接続し、オンライン医療や行政手続きなど様々なサービスを最寄りの公共施設等で受けられる地域を目指す。併せて、行政効率化の観点から、職員がどの庁舎でも業務可能な環境を整備する。

### ・デジタルを用いた新しい市民参画の仕組みづくり

オンラインのプラットフォーム上に、市民がアイデアや意見を投稿し、行政と自由に意見交換できる場を用意し、新たな市民参画の仕組みを構築する。

### ・学術機関と連携したデジタル人材、技術の育成

学術機関とともに、鳥獣追払いシステムや河川の水位センサなど、地域課題の解決に必要なデジタル技術を創出する。また、継続的に技術を蓄積し、学生への実践的な教材の提供と、将来的な産業創出を目指す。





## 討議 1 活動成果に関するご意見伺い

# Society5.0事業の当初定めた2022年度KPIは達成。

ご意見  
伺い

別紙掲載の活動成果を踏まえ、更なる改善点等について、ご意見ください。

### 地方創生推進交付金 Society5.0事業のKPI

KPI	単位	2022年度増加分		2023年度増加分	2024年度増加分	2025年度増加分	2026年度増加分
		計画	実績(1月時点)	計画	計画	計画	計画
1 デジタル田園都市基盤上のサービス利用者	人	200	約5000	200	200	200	200
2 中山間地域にて実証したサービスの社会実装数	個	1	1	1	2	2	2
3 デジタルを活用した新規事業数	事業	2	2	2	2	2	2
4 データに基づく地域サービスの改善数	個	1	7	1	2	2	2

### 実績詳細

デジタル田園都市基盤上のサービス利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けのデジタルサービスの提供窓口のワンストップ化について検討を行ってきた。</li> <li>2021年度下期までワクチン接種予約のみに用いてきた鶴岡市公式LINEアカウントについて、市民向けのワンストップ窓口として活用することとなった。</li> <li>鶴岡市公式LINEアカウントの登録者数は、<b>2021年度(国申請時)約25,000人だったが、2022年度約30,000人に増加した。</b></li> </ul>
中山間地域にて実証したサービスの社会実装数	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域にて、遠隔行政手続き、遠隔高齢者見守り、AI画像認識による鳥獣被害対策の実証を行った。</li> <li>そのうち<b>1事業(遠隔行政手続き)</b>については<b>社会実装</b>され、2022年1月に市民向けにサービスが開始した。</li> </ul>
デジタルを活用した新規事業数	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と地場関係者が連携した新規事業として、SDGsパートナー登録制度が開始された。SDGsに取り組む地場企業・団体(80社超)と、<b>対面とデジタル上での議論を組合わせて</b>、地域課題解決を検討している。</li> <li>鶴岡高専に、行政が把握した地域課題を共有し、学生がデジタルの開発を行うことで、<b>デジタル人材育成と技術の地元定着</b>を図る事業を開始した。</li> </ul>
データに基づく地域サービスの改善数	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>デジタルワンストップ</b>上での市民の回答データを活用し、サービス改善できる仕組みを整備した件数は<b>6件</b>。(課税課_税に関するFAQ、特定保健指導の問診票、県外在住学生応援事業、ゴミ出しリマインダー通知、成人式登録、「広報つるおか」リニューアル)</li> <li><b>市民参画プラットフォーム</b>上への市民からの意見が地域サービスの改善に繋がった件数は<b>1件</b>。(公益社団法人鶴岡青年会議所2022年度5月公開例会の企画への意見)</li> </ul>

# SDGs未来都市鶴岡 デジタル化戦略の推進

SDGs未来都市鶴岡 デジタル化推進有識者会議【事務局資料】

1. これまでの経過と今後の有識者の役割について
2. 討議 1 : 地方創生推進交付金(Society5.0)の取組について
3. 討議 2 : 今後取組むべき活動テーマ

## 討議 2 今後取組むべき活動テーマ

# 【参考】鶴岡市におけるデジタル化の進展度やそれに伴う生活の満足度を把握することを目的として「デジタル化の進展度と生活の満足度に関わる市民アンケート」を実施

### 市民アンケート実施概要

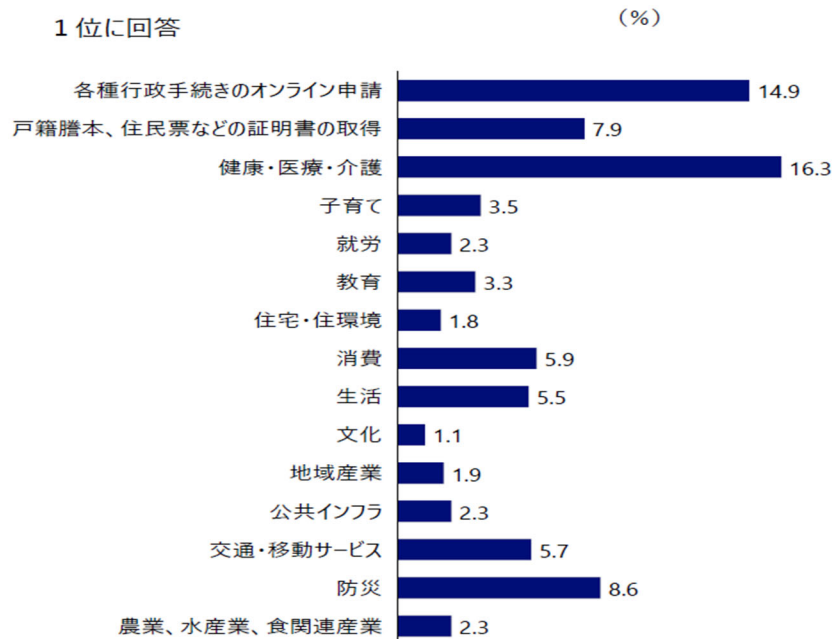
- 鶴岡市内在住の15歳以上の男女にデジタル化に関するアンケート調査を実施しました。

項目	質問項目
実施期間	2022年7月25日～8月12日
対象者	市内在住の15歳以上の男女
配布数	3,000サンプル（紙面郵送配布、紙面郵送回収・Web回答）
回収数	884サンプル（紙回答：617、Web回答：267）（回答率29.5%、紙面・Web回収）

### アンケート結果抜粋

デジタル化が進んで欲しい分野は、「健康・医療・介護」、「行政手続きのオンライン申請」、「防災」の順になっています。

#### デジタル化が進んで欲しい分野

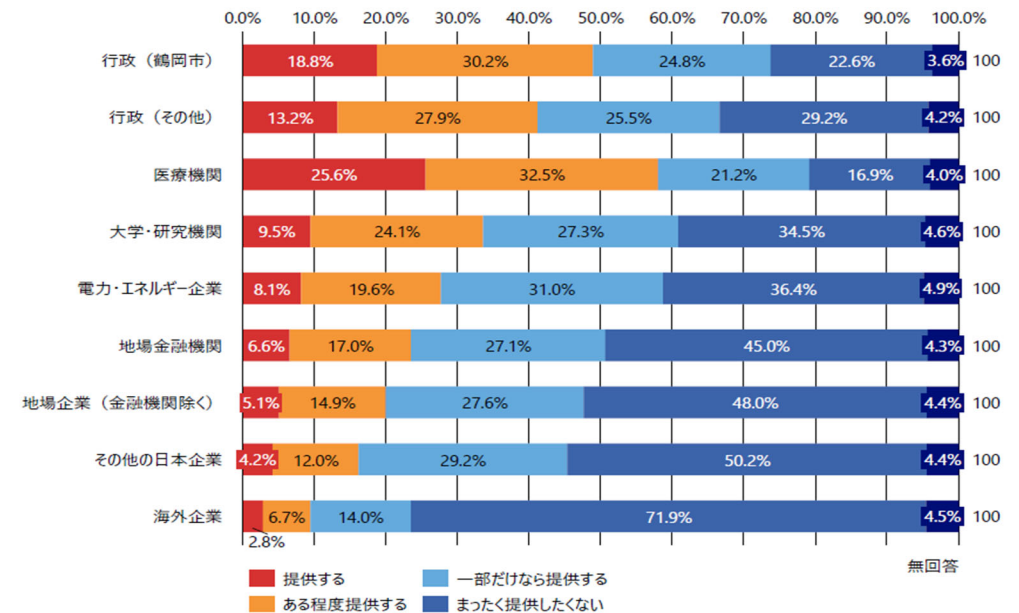


#### 【アンケート設問】

Q9-1Q9の①～⑤の中で、あなたがお住まいの地域で、最もデジタル化が進んで欲しいと考えるものを上位3つまで選んで、回答欄に番号を記入して下さい。

個人情報の提供先として、鶴岡市役所に対する信頼度が医療機関に次いで高く、「一部だけなら提供する」を含めると7割以上が提供意思があることがわかりました。

#### 個人情報の提供について



#### 【アンケート設問】

Q11 あなたは、個人情報が保護されることを条件として、以下の主体から、サービス向上のために自分の個人情報の提供を求められた場合、提供しようと思いませんか。（それぞれ○はひとつ）

## 討議 2 今後取組むべき活動テーマ

これまでは、市民に身近な課題を解決する取組から着手してきた。今後は優先的に、将来の市民生活に大きく影響する課題にも、取組んでいく必要があるのではないか。

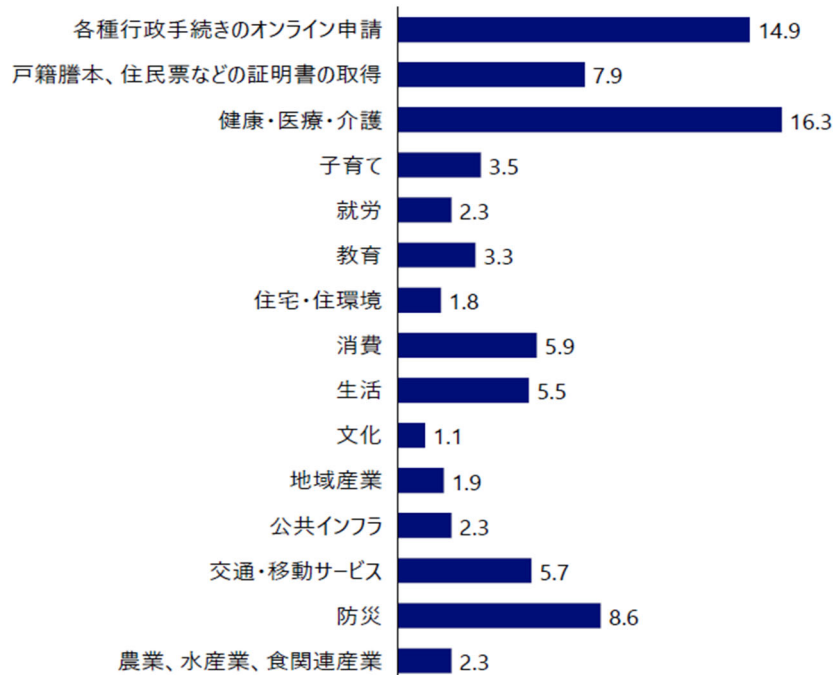
ご意見  
伺い

地域の特色や状況、全国的な情勢を踏まえ、今後新たに取組むべきテーマについて、ご意見ください。

### デジタル化が進んで欲しい分野

1 位に回答

(%)



### 既に着手されているデジタル化テーマの分野

実運用	デジタルワンストップ
実証	遠隔保健指導、健康データ活用、スマートホスピタル、高齢者見守り、
実証	鶴岡高専との地域課題解決
構想	持続可能な小規模店舗
実証	デジタル市民参画
実運用	SDGs 認証登録制度
実運用	起業家育成プログラム
構想	エネルギーの地産地消
実証	防災デジタル化
実証	規格外産品小ロット物流

出所)令和4年度「デジタル化の進展度と生活の満足度に関わる市民アンケート」

#### 検討段階の凡例

・各テーマの検討段階を示している。構想、実証を経て、実運用に至る。



※実証以降の段階のテーマ詳細は別紙参照

## 討議 2 今後取組むべき活動テーマ

# 【参考】「デジタル化の進展度と生活の満足度に関する市民アンケート」結果の概要資料

■ 鶴岡市HPに、市民アンケートの結果を掲載しています。討議の参考にご確認願います。

## アンケート結果概要 掲載ページ

### ■ 掲載場所

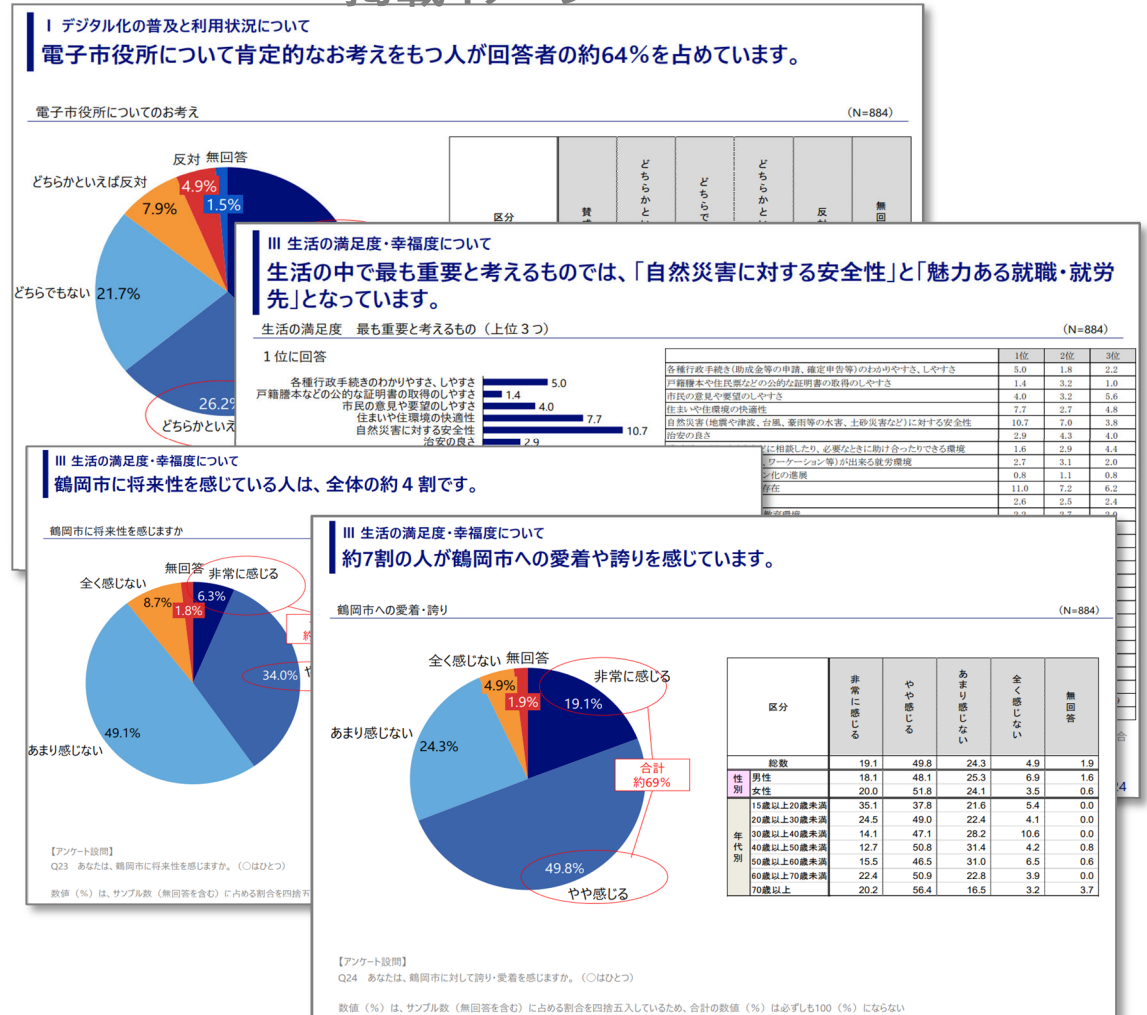
鶴岡市トップページ > 市政情報 > 情報政策 > 【結果】令和4年度デジタル化の進展度と生活の満足度に関する市民アンケート

### ■ URL

[https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/it/r4\\_digital\\_enquete.html](https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/it/r4_digital_enquete.html)



## 掲載イメージ



【参考】デジタル化の進捗度と市民生活の満足度等との関係を定点観測するための指標も提唱されている。

(例)「DCI」(Digital Capability Index、デジタル・ケイパビリティ・インデックス)

野村総合研究所、デジタル時代における新経済指標と新たな地方創生の取り組みを発表 [https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/lst/2019/cc/1002\_1]

